

第5回天気予報研究会開催のお知らせ

第5回天気予報研究会を下記要領で開催します。
日時：2008年2月1日（金）13時30分～17時30分
場所：気象庁大会議室（気象庁5F）
 千代田区大手町1-3-4

総合講演：

加藤輝之（気象研究所予報研究部）
 「地形性豪雨—その発生環境場と数値モデルによる再現可能性—」

講演：

1. 三石浩一（大阪管区気象台技術部）
「淀川チャンネル型降水（その2）」
2. 瀬古 弘（気象研究所予報研究部）
「GPS 掩蔽データの同化法の開発と降水予報の改善例」
3. 笠原真吾（気象庁予報部予報課）
「竜巻等の突風に関する予測技術」

4. 今井俊昭（（財）鉄道総合技術研究所気象防災研究室）

「鉄道分野における気象災害の研究」

5. 北川裕人（気象庁予報部数値予報課）

「気象庁における数値予報モデル構成の改善—新しい高解像度全球数値予報モデルの導入—」

6. 澤井哲滋（気象大学校）

「総観場のパターン分けに基づく天気図変化と気温」

総合討論

各発表の講演要旨は、気象学会HP内に近日公開予定の天気予報研究連絡会ホームページに掲載予定です。

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：連絡会事務局 古川武彦「気象コンパス」(takefuru@eos.ocn.ne.jp)